

「デジタル・アーカイブ速報」No.37

岐阜女子大学 文化創造学部

〒501-2592 岐阜市太郎丸 80

フリーダイヤル 0120-661184

URL <http://www.gijodai.ac.jp/>

岐阜女子大学大学院 文化創造学研究所(事務局)

〒500-8813 岐阜市明徳町 10 番地 杉山ビル 4F

TEL 058-212-3257 FAX 058-212-3258

URL <http://www.gijodai.jp/graduate/>

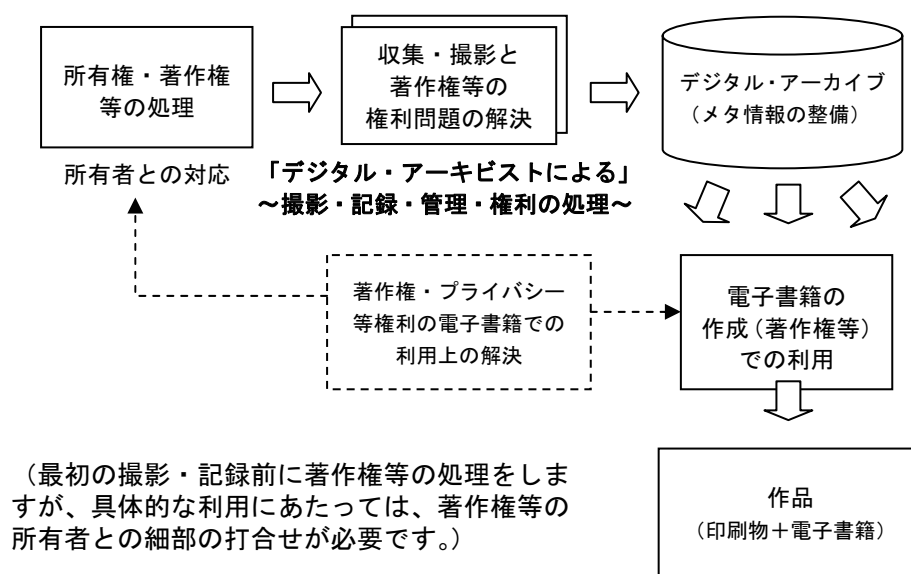
電子書籍（教科書）の情報環境としてのデジタル・アーカイブ

～作者や教科書等制作会社の素材整備～

現状の印刷物の二次利用としての電子書籍（教科書等）は、昔の印刷物（古文書等も含め）、現状の出版物など多くの書籍類がデジタル化され、広く利用が進むと考えられます。しかし、本来の電子書籍としての機能としては、単なる印刷メディアの二次利用ではなく、最初からデジタル機能を用いて構成されるものです。とくに、若い人達の印刷メディア離れが進むと、印刷物の二次利用から、電子書籍と印刷メディアの特性を配慮した情報提供が一般化されるでしょう。

～電子書籍（教科書も含め）の作成の情報環境～

電子書籍の作成の情報環境は、これまでの作者が、出版物に囲まれて、製作活動と同様に、出版物と併せて、多様な映像・音声・文字等の情報を持つデジタル・アーカイブが必要となってくるでしょう。とくに、電子書籍では、具体的な映像、説明、関連資料等を調べることが必要となり、時には現地での撮影・調査や、それを利用することもあるでしょう。映像、資料等を電子書籍で利用するには、その著作権・所有権・プライバシー等の法的な面、倫理的な面での書籍としての利用上の解決が必要になります。



電子教科書等を製作する会社では、各教科・学年等での利用状況で限定した各資料が、利用できるように認可を得て、デジタル・アーカイブを構成しておく必要があります。電子書籍、電子教科書等の製作を支えるデジタル・アーカイブの構成は、多様な資料があり、各分野でその資料の構成の検討が必要です。

電子教科書会社のように利用範囲（教科、学年等）の枠がある程度決められる場合は、各社でいかにデジタル・アーカイブの目的に応じて、コンテンツ作成に適する分類・コード化を進め、効率よく提供・利用できるようにするかが課題です。とくに著作権、所有権、プライバシーや素材の撮影・記録・管理では、これらの指導ができるデジタル・アーカイブによる開発・整備が必要になります。著作物の作成にあたっては、いかに前もってその準備をするかが、課題となるでしょう。

～電子書籍等の制作に必要なデジタル・アーカイブ～

電子教科書作成のために、現状の印刷物（図書）類と併せて利用するデジタル・アーカイブは、次のような観点での情報の整理が必要とされます。

① 内容別の整理と管理

書籍等の制作目的に対応して、コンテンツの内容を分析し、類別し、保存・管理できるデータベースの構成をします。

② 著作権、プライバシー等の法と倫理面での整理

資料の収集の前に、事前調査として、著作権・所有権等の交渉者を明らかにしておき、撮影・記録時に許認可を得ておきます。そのとき、著作人格権も含め、利用の条件を明らかにして、デジタル・アーカイブで保存します。

③ 資料の構成（オーラル、映像、文書、音声、機能等）による処理機能等の分類整理

これまでの印刷物を使い、電子教科書のコンテンツには、多様な表現・提示方法・処理方法があり、このコンテンツから制作者が何を選択すればよいか、基礎情報（メタ情報）の提供が出来る機能の分類をすべきです。

これらのデジタル・アーカイブの制作には、法、倫理、資料整理機能等の理解と実践力のある人材が必要になります。とくに、教材等では、これらの知識・理解と実践力の他に、各コンテンツの学習の特性を情報として提供できる調査・分析能力が求められます。

～電子書籍の作成のための基礎データの構成～

電子書籍は、音声・映像・文字・図形など、多様なデータが利用できます。この作成にあたっては、デジタル・アーカイブとして、資料の管理・利用が必要となってきます。とくに、これまでのように、一つの文書、映像ではなく、一連のデータで構成され、その中から、必要な情報を取り出して、電子書籍での利用がされます。

次に、説明の音声と映像、関連資料のデータで構成された一つのデジタル・アーカイブのコンテンツ例を紹介します。

奈良時代（大仏建立の時代）から歴史の中に存在してきた手向山八幡宮、宇佐神宮の goodness で構成した例を示します。

手向山八幡宮と宇佐神宮

手向山八幡宮の歴史
 岐阜女子大学文化情報研究センター

- 1 手向山八幡宮 境内の様子 (00:00)
- 2 手向山八幡宮と宇佐神宮との関係 (01:22)
- 3 宇佐神宮と八幡宮ご勧請 (05:18)
- 4 手擡会 (転宮会) (09:50)
- 5 神輿と記念碑 (12:25)
- 6 菅原道真と菅公腰掛石 (15:11)

参考資料

- 手向山八幡宮 説明文
- 手向山八幡宮 境内社 住吉本殿
- 手向山八幡宮 GPS情報
- 手向山八幡宮 狛犬 (1)
- 手向山八幡宮 狛犬 (2)
- 手向山八幡宮 狛犬 (3)
- 手向山八幡宮 ユネスコ世界遺産登録証書
- 手向山八幡宮 ご由緒
- 宇佐神宮 説明文
- 宇佐神宮 GPS情報
- 宇佐神宮 上宮の様子 (1)
- 宇佐神宮 御神体山 (2)
- 宇佐神宮 御神体山 (3)

参考資料例



宇佐神宮
東大寺御神幸記念碑 説明



宇佐神宮
東大寺御神幸記念碑 写真



宇佐神宮
上宮の様子 動画

手向山八幡宮



0:19:36

手向山八幡宮の歴史
岐阜女子大学文化情報研究センター

- 1 手向山八幡宮 境内の様子 (00:00)
- 2 手向山八幡宮と宇佐神宮との関係 (01:22)
- 3 宇佐神宮と八幡宮ご勧請 (05:18)
- 4 手搦会(転宮会) (09:50)
- 5 神輿と記念碑 (12:25)
- 6 菅原道真と菅公腰掛石 (15:11)

手向山八幡宮 事前学習
手向山八幡宮 権宮司 上司延種氏による 手向山八幡宮の歴史

06【菅原道真と菅公腰掛石】



手向山八幡宮 菅公腰掛と菅公腰掛石

百人一首で有名な、「このたびは 幣もとりあへず手向山 もみちの 猪神のまにまに」というに出てくる手向山が、このあたりではなしかと。

だけでも、道真が赤歌を詠まれたころには、この場所にはまだお宮がなかったんですけれども、かつてその時代から非常にモシが楽しい場所でした。ちょうど天皇の御幸に同行される。京都から吉野へ行かれる途中にお詠みになったというのがその歌なので、このあたりは京都から吉野、さらには伊勢へ続く、いわゆる峠があったんじゃないかと。

いまの山頂に上下と書く「峠」というのは、あとからつづられた字で、本来は手向山と書いて「とらげ」というふうに読んだみたいで、ほっきしたことは忘れまじたいけど、東北地方にも実際に手向山と書いて「とらげ」と読む地名が、やはりあるみたいなんですよ。それで、そういうことで。

参考資料

- 手向山八幡宮 説明文
- 手向山八幡宮 境内社 住吉本殿
- 手向山八幡宮 GPS情報
- 手向山八幡宮 狛犬 (1)
- 手向山八幡宮 狛犬 (2)
- 手向山八幡宮 狛犬 (3)
- 手向山八幡宮 ユネスコ世界遺産登録証書
- 手向山八幡宮 ご由緒
- 宇佐神宮 説明文
- 宇佐神宮 GPS情報
- 宇佐神宮 上宮の様子
- 宇佐神宮 御神体山 (1)
- 宇佐神宮 御神体山 (2)
- 宇佐神宮 御神体山 (3)

参考資料例

手向山八幡宮 (御縁: 岐阜県岐阜市塩田)

二宮様とユネスコ文化遺産




手向山八幡宮



手向山八幡宮
菅公歌碑

手向山八幡宮 説明文

電子書籍は、これまでの印刷物の単なるデジタル化の二次利用的な時代が、当面続き、次に新しい情報化に慣れた人達による新しい本格的な文化活動が進みだすでしょう。教科書が今後の文化を創造する人々を育てる基盤であれば、情報化と言う慣れが必要です。人々の活動を支援するためには、まず、若い世代からその慣性を育てる必要があります。

このためにも、現状の紙の教科書の二次利用的なデジタル化ではなく、新しい文化創造の世代交代に配慮した、新しい視点から電子教科書を考えるべき時代になりました。電子書籍は、印刷物のデジタル化の二次利用的な時代から次の世代に移行が課題です。

新しい情報化に慣れた人達による本格的な文化活動が進みだす基盤として、1日も早く電子教科書の本格的な構成と、その利用が進むことを望んでいます。そのためには、まず、本格的な電子教科書を作るための情報環境の整備をすべきでしょう。(文責 後藤)